

第268回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 令和3年5月17日(月) 11:00~12:00

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 5人  
出席委員数 5人

(1) 出席委員の氏名 小笠原 伸 (委員長)  
君島 理恵 (副委員長)  
青木 敬信  
新井 啓泰  
高橋 淳

(2) 放送事業者側出席者 鈴木 峰雄 (代表取締役社長)  
佐藤 望 (放送部長)  
高賀茂 沙緒里 (放送部)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換  
(2) その他  
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

2021年5月1日に放送した新番組「OLDIES GOODIES ANNEX」について、  
試聴と意見交換をおこなった。

事業者：

今年、4月から新番組としてスタートした音楽番組です。

フォークシンガーばんばひろふみと音楽プロデューサー長門大幸が圧倒的な音楽知識と豊富な経験で奥行きのあるトークを繰り広げ1950年代から70年代の洋楽、多くのアーティストがカバーする大ヒット曲やここでしか聴けないレアな音源など、オールディーズの魅力をたっぷりご紹介する音楽番組です。

## 【 番 組 の 試 聴 】

委員： とても楽しく聴ける30分であり、多くの情報量が盛り込まれている番組。

委員： 貴重な番組を作っていると感じた。自分が若い時に聴いていたら面白かったと思う。

委員： 年代によって受け方が違うと思う。  
アーティストや曲を知らない若い人はどう感じるのか気になった。

委員： 曲のラインナップを見ていて、自分が知っているのはビートルズしかなかった。  
興味のある人・ない人で好き嫌いが分かれてしまうだろう。

委員： もっと若い人が聴きやすくするためには、今のミュージシャンがどうカバーしているのかななどを紹介すると良いのではないかと思う。

委員： 曲を聴かせるというよりも、知識や時代の関わり方を聴かせる番組だと思った。

委員： 話がどんどん進んでいく上に、1つの曲が短く詰め込みすぎている印象だったが、  
聴いているうちに、こういうものなのだと理解した。  
音楽を聴かせるのではなく、そこにあるストーリーで聴かせるのも良いのだと思った。

委員： 音楽が短いので物足りないと感じた。

委員： ばんばさん、長門さん2人とも楽しそうに話していて、雰囲気の良い番組という印象。

委員： 独創的で楽しめる、勉強になる番組。

委員： 途中から聴いた人は番組の趣旨がわからないので、ついていくことができないかもしれない。  
深夜など、もう少ししっかりと聴くことができる時間帯に放送してもいいのではないか。

委員： 土曜日の夜にこういった番組を流すのは良いと思う。

委員： リラックスして聴ける番組。ただ、全体の印象はすごく良いというわけではない。  
“古き良きことが新しい”というキャッチフレーズだが、新しさを伝えるまでにはいっていない印象。

委員： 2人のキャラクター・知識に頼り切っていて、企画もなく、聴き手に気を配った内容ではないところが残念。

委員： マイクが近いのか、声がこもった印象。

委員： 話の内容が濃いので、もう少し曲の解説に時間をかけ、かみ砕いた話をしてほしかった。

委員： 2人の話のテンポが早いので、内容が頭に入らないうちに次にいってしまう。もったいない。

委員：2人の知識・トークがマニアックで、一般の方が聴くには難しいので、これから工夫していくことが大事。

委員：長門さんはプロデューサーでは有名だがパーソナルな部分は謎の人だったので、ラジオ番組をやると聞いて興味があった。

委員：長門さんの知識をアーカイブなどで残していくと良いと思う。

委員：この番組は聴く人を選ぶ。しかし、これがこれからのラジオのあり方かもしれない。

委員：リスナーが高齢化している中、こういった60代以上向けの番組の放送は面白い。

(以上)

(2) その他  
なし

(3) 次回開催日程について  
次回の開催を6月14日(月)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日  
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日  
(1) 放送 5月30日(日)午後 7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内  
(2) 書面 本社事務所に備え置き  
(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項  
なし